

議会

だより

いな

が

わ

第161号

平成28年(2016年)11月1日

発行：兵庫県猪名川町議会

い



| | |
|-----------------------------------|----|
| もっと住みよいまちに 住み続けたいまちづくりのための条例制定 | 2 |
| 委員会の活動報告 | 4 |
| 一般質問 7人が町の考えを聞く | 6 |
| 復活!!追うレンジャー いながわ追跡調査隊 | 10 |

子ども歌舞伎

もっと住みよいまちに 住み続けたいまちづくりのための条例制定

第383回

9月定例会

第383回9月定例会は9月13日から27日までの15日間開会し、平成28年度会計補正予算3件、人事案件1件、条例の制定3件・改正1件、水道・下水道事業会計決算2件を審議し、いずれも全会一致で原案どおり可決・認定した。このほか請願1件を採択したほか、2件の報告を受けた。
平成27年度一般・特別会計の決算6件については、各常任委員会に付託し継続審査とした。



住みよいまち

人事案件

監査委員の選任
長島久氏が任期満了となるため、古賀三津男氏の選任に同意。

条例制定

条例の制定3件
危険空家等対策に関する条例
空家などの所有者に対して、その適切な管理を義務付けることにより、地域の防犯と生活環境の保全を図るため、本条例を制定。
危険空家等対策協議会条例

報告事項

執行者から次の2件について報告があった。
○健全化判断比率及び資金不足比率の報告
○平成27年度教育委員会点検・評価の報告

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ9千138万1千円を追加した。歳出の主なものは本庁舎の空調設備改修の工事費7千680万円。学校園のあり方検討にかかるアンケート実施費28万4千円。スクールン―シャルワーカー経費67万4千円を増額。

条例改正

条例の改正1件
留守家庭児童育成室条例
子ども・子育て支援法の施行に伴い、小学校6年生を入所資格に追加するため、本条例の一部を改正。

決算認定

平成27年度上水道事業・下水道事業会計決算を認定。

意見書を提出

「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直し」を求める請願者
〈請願者〉
一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会

結果

本会議

全員一致で採択

「意見書」を

国へ提出

概要

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うこと。



シャワーいす



手押し車



玄関の手すり

● ● ● **各会計の補正額** ● ● ●

| 会計 | 補正額 | 補正後の総額 | |
|------|-----------|-------------|------------|
| 一般会計 | 9,138万円増額 | 100億1,288万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 178万円増額 | 38億1,945万円 |
| | 介護保険 | 5,841万円増額 | 21億7,389万円 |

(金額は、万単位で四捨五入)



留守家庭児童育成室

新名神高速道路対策特別委員会

全線開通時期

平成29年度末に見直し



(仮称)川西インターチェンジの工事現場現状

9月23日委員会を開会し、新名神高速道路の町内工事進捗状況について説明を受けた。主な内容は次のとおり。
平成28年4月22日に新名神有馬川橋工事で事故が発生したため、工事を一時中止した。8月5日に工事を再開したが、新名神高槻〜神戸間41kmについては、新たに平成29年度末を全線開通を目標

とし、一日も早い開通を目指す。なお高槻〜川西間24kmについては、一部のトンネル工事において、施工行程の見直しを行い、来年秋ごろの部分開通を目指す。
町内の概要は次のとおり。
・総延長 4.1km
・施工形態 暫定4車線
その後、現場を視察。



工程は次のとおり。
①(仮称)川西インターチェンジ
②切畑トンネル

現地では、西日本高速道路(株)から(仮称)川西インターチェンジ内の工事全体が見渡せる場所で、説明を受けた。その後、車で移動し六石山トンネルを通過し、切畑トンネルまでを車窓から視察し、現地視察は終了。視察終了後委員会を再開。関連質問が一件あった。



田口 一博氏の講演

●8月2日
ホテル北野プラザ六甲荘(神戸市)
兵庫県町議会議長会主催の議会運営委員研修会に本町から7人が参加し、新潟県立大学准教授の田口一博氏より、「議

議会運営委員 研修会に参加

会マネジメント組織としての議会運営委員会」と題して、「議会運営は受け身でよいのか?」議会の事業計画」「議会への住民参加」「議会の活動報告の改善」などについて講演を受けた。

総務文教

学校園あり方アンケート実施決定



学校園あり方検討意見交換会

9月14日に委員会を開会し、付託議案を審査。主な質疑は次のとおり。
一般会計補正予算
本庁舎空調工事の工事請負内訳は。
A 新しい機器設置、機械室などの改修、既存機器撤去などの直接工費が5千165万4千円、現場管理費などが2千514万6千円、合計7千680万円となっている。
B 教育費事務作業委託料でアンケート実施とあるが、6月の学校園あり方検討委員会で意見があったのか。
A 同委員会で意見もあったが、実施は明言していない。地域との意見交換会を4回開催し170

名ほどの参加者があったが、発言されていない方が参加されていない方の意見も考慮する必要がある。
アンケートの設問は業者主体で作成するのか。
A 教育委員会も入って調整していく。
猪名川町中小企業振興基本条例の制定について
町の責務として経済的支援をどう考えるのか。
A 経済的支援を具体的に条例の中では明記していない。人的な支援も含め、条例に基づき必要な時には経済的支援もしていく。
いづれも全会一致で可決

生活建設

危険空家等対策に関する条例制定



空家

9月15日に委員会を開会し、付託議案を審査。主な質疑は次のとおり。
危険空家等対策に関する条例の制定・危険空家等対策協議会条例の制定
この条例の対象としている中に、当初より建築物のない空地も含まれているのか。
A この条例の対象としているのは、空家等対策の推進に関する特別措置法で定められた、以外の空家及び空地も対象としている。
第6条の実態調査等から、第12条の応急措置まで、要件を満たした場合は、この条例対象となるのか。
A 詳細の運用の規定については、今後の調査となるが、条例で定められた部分については、指導・勧告・命令・行政代執行まで、実施可能となる規定を設けている。
他市の状況を見ると、除去に対し補助金の制度がある団体もあるが、この除去制度に対しての県からの補助は。
A 条例に基づいて、空家対策するところについては、補助ではなく、地方交付税の中で、交付税措置されると情報を得ている。
その他7議案についても審査。いづれも全会一致で可決

一般質問

第383回定例会

町の考えを問う

| 質問順 | 質問者氏名 | 質問事項 |
|-----|-------|---|
| 1 | 岡本信司 | ●道の駅いながわ将来構想について ●桜通りの街路樹の管理について |
| 2 | 阪本ひろ子 | ●地域支援事業の方向性は ●「共生型グループホームと富山型デイサービス」の必要性を問う |
| 3 | 池上哲男 | ●介護保険制度について |
| 4 | 福井澄榮 | ●初の原子力防災訓練について ●給付型奨学金制度について ●企業版ふるさと納税について |
| 5 | 南初男 | ●川の氾濫防止へ浸透 ●猪名川町スポーツセンターグラウンドの観覧席に手すりを |
| 6 | 丸山純 | ●人口増加策について ●15歳未満の住民を増やす対策 |
| 7 | 中島孝雄 | ●胃癌の予防にヘリコバクターピロリ菌の検診導入は |

(詳細は6～9ページをご覧ください)

安心して暮らせる地域社会の構築を

共生型福祉施設の設置促進に努める



阪本ひろ子 議員



天河草子 歌ごえサロン

生活支援コーディネーターの役割と総合事業への取り組み姿勢は。

化につながるかと考える。障がい者と高齢者が共に暮らす事で相乗効果が期待できる共生型グループホームの設置は。

生活部長 地域住民の交流に関わり、サービス提供主体間の連携体制づくりなどにつなげていく。健康長寿体操教室の取り組みを総合事業に位置づけ、居場所づくりを促す。居場所づくりを行う団体に対し運営経費の一部助成も検討。

生活部長 高齢化に伴いニーズが高まるものと考え、民間事業者の誘致に努めたい。赤ちゃんから高齢者まで障がいの有無に関係なく利用できる「富山型デイサービス」の必要性は。

生活部長 介護の専門職は要請により訪問相談可能。居場所の充実・活性化を促す。

生活部長 厚生労働省で共生型福祉施設のガイドラインが策定予定。本町でも設置促進に努める。

道の駅いながわ将来構想の進捗状況は

本年度中に事業費概算や概略設計予定



岡本信司 議員

施策体系と重点プロジェクトの関係

| 重点施策・具体事業 | 道の駅 |
|------------------|-----|
| 健康づくり・生きがいづくりの支援 | △ |
| バス交通の充実 | ○ |
| 環境教育・情操教育の支援 | ○ |
| 「子育てのまち猪名川町」のPR | △ |
| 猪名川町で働く意識醸成 | △ |
| 農業の振興 | ◎ |
| 農業と観光の連携 | ◎ |
| 農業の六次産業化の取り組み | ◎ |
| 木質バイオマスの活用 | ○ |
| 観光振興と交流人口の増大 | ○ |
| 特色あるイベントの実施 | ○ |
| 新名神高速道路の効果の取込み | ○ |

◎:基幹事業 ○:強い関連事業 △:関連事業

「道の駅いながわ将来構想」より抜粋

道の駅いながわ将来構想計画について、住民の意見はいつ聞くのか。

企画総務部長 今後、広く住民意見を聞くこととしている。

多種類の観光農園やドッグランは、道の駅に必要なものか。路線バスのロータリーはバスの増便を意味しているのか。

企画総務部長 ドッグランなどは設置が決まったものではない。道の駅の集客力を活かした観光農園を、民間資本を使って整備し、効果を町内の観光農園にも波及させる手

法を考えていく必要がある。バスの便数が増えることが考えられる。

農作物の安定的供給のため、巡回集荷の実施など高齢者でも出荷できる体制づくりや、新興就農者を呼び込む仕組みが必要である。町の活性化や住民の生きがいづくりの観点から、商品提供者の拡充をうちだすべきでは。

地域振興部長 制度創設の必要性把握や供給要件緩和の研究に努めたい。

その他の質問 桜通りの街路樹の管理

来年4月から要支援者へのサービスは

現在と同様のサービスを考えている



池上哲男 議員



福祉用具取り下げも考えられる

来年4月から介護予算が削られ、要支援は介護保険制度から切り離される。福祉用具の使用も制限される。さらに、要介護1・2も切り離そうとしている。少子高齢化による介護人材不足を理由にしているが、最大の要因は低賃金なのは明白。しかし、制度が変えられても、住民へのサービスを守るのが町の責務。要支援へのサービスは。

生活部長 現在サービスを受けている人の通所・訪問介護は、現在と同様のサービスを考えている。国は削られた分はポラン

ティアとしてしているが、事故の場合の責任や継続性の検討は。

生活部長 介護予防ボランティア講座を開設し、育成する予定。来年4月からすくに移行しなければならぬものではないので、今後検討する。

報酬が2割以上引き下げられた介護予防デイサービスの事業者は大変苦しい状況と思うが、事業への影響は。状況によっては支援も必要では。

生活部長 事業所の撤退はない。現時点で支援は考えていない。

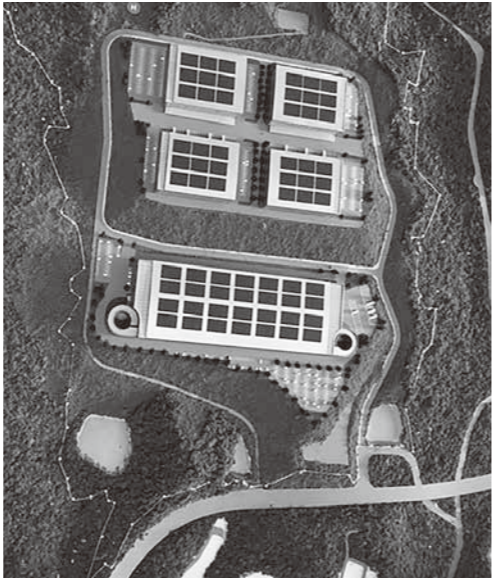


丸山 純 議員

Q 産業拠点地区での人口増加策は

A 町内雇用比率を約35%と試算している

つづじが丘南部の産業拠点地区にプロロジスの子会社の進出が決定した。本町内で雇用が確保されればベストだ。この件で雇用に関してどの様な考えを持っているのか。



雇用が期待される物流施設

まちづくり部長 産業拠点地区では1500人の雇用を想定し、うち町内雇用比率は約35%との試算が提案されている。その背景として、近年の物流施設は製品の最終加工や梱包・仕分け作業が行われる「事業所」という側面が強いため、雇用が見込まれる。



医療充実こそ地方創生

医療充実こそ「地方創生」である。1市3町で、多くの雇用を生む、より高度医療を施せる新しい公立病院の建設に向け「企業版ふるさと納税」で、各企業に協力願えることを確認するが。

考えていない。ただし、医療に関する不安の解消や、迅速に医療機関への移送が可能となる取り組みは今後も検討していく。福井県高浜町の関西電力高浜原子力発電所での原発事故を想定した内閣府及び、福井・滋賀・京都3府県と、関西広域連合による合同原子力防災訓練が8月27日に実施され、宝塚市・三田市が約240人を受け入れたが、本町ではどのように想定しているのか。

Q 高度医療を施せる新しい公立病院建設 A 企業版ふるさと納税活用考えていない



福井 澄栄 議員

企画総務部長 企業版ふるさと納税の活用は現在考えていない。事故発生時は本町で751人を想定。2カ月を上限とし可能な限り早期に二次避難先への移行を進める。近畿2府8県議長会が給付型奨学金制度の創設もめざすが本町も取り組むべきではないか。

Q 川の氾濫防止へ浚渫

A 河川状況を把握し撤去などの対策を実施



南 初男 議員

まちづくり部長 全国で想定外の局地的豪雨が頻発している。本町の河川には兵庫県が管理する一級河川猪名川・野尻川・槻並川・阿古谷川・原川と町が管理する普通河川がある。今後は想定外の事態に備え河川管理が必要と思うが。



清水地区の薬師橋付近

町内各所を流れている。災害を未然に防止するとともに住民の安全・安心を確保し、生命と財産を守るため護岸、未整備箇所を整備など計画的に土砂を撤去し、緊急性の高い箇所から優先的に洪水対策に取り組むよう県に要望する。猪名川町スポーツセンターグラウンドの観覧席に手すり。



まちぐるみ検診



中島 孝雄 議員

Q 胃癌予防にピロリ菌の検診導入を A 医師会との連携を図り調査・協議する

世界保健機関も、胃癌の発症原因がピロリ菌と特定した現在、胃癌の予防をめざした検診を実施する自治体も増えている。篠山市では、除菌治療にも助成を開始しているが、予算的にも軽微な、ピロリ菌検診の導入により、癌リスクを軽減させ、予防と健康意識の更なる向上に役立つと考えは。

生活部長 ピロリ菌は胃癌だけでなく、胃潰瘍や胃炎などの発症要因とされ、除菌治療を実施することにより、発症のリスクを減らせるとされている。しかし、除菌には下痢や軟便、アレルギー反応などの副作用の心配もあり、現段階では国の指針に基づき、問診とX線検査での検診を実施。近隣各市の取り組みの状況は。

生活部長 宝塚市では27年度より、40歳から55歳までを対象に、5歳刻みで実施。川西市は人間ドックの検診項目に導入。三田市は30歳の集団検診の希望者に実施しており、今後は厚生労働省の動向も注視しながら、医師会や関係機関とも連携を図り、協議と調査を進める。

男性向け「育児ヒント集」を作る考えは

質問

平成25年12月定例会

家族に愛されるお父さんになるためのヒントや、おむつのかえ方・食事・外出・歯磨き・就寝など、子育てのヒントがまとめられた冊子を作る考えは。

答弁

研修会や講演会を通じて啓発に努める

男性が日々ささいなことから、育児に参加協力できる環境づくりに向け、研修会や講演会を通じて啓発に努める。

現在

時代にあった情報発信ツールを検討している

お父さんだけでなく家族みんなで、子育てに参加し協力できるよう、さまざまな講演や行事を展開し、今ではイクメンの認知度も高まってきた。本年3月には、子ども子育てを応援するガイドブック「ここ・い～な☆」の発行をし、情報発信に努めている。子育てを楽しみながら育児をサポートする、時代にあった情報発信ツールを検討している。



(子育てガイドブック)

AEDの無料貸し出し制度の創設を

質問

平成23年12月定例会

AEDは大変高額であり、スポーツ団体などが自前で購入するのは財政的に無理。安全・安心のため、AEDの無料貸し出し制度の創設を。

答弁

1台貸し出しできる

消防本部では、保有するAEDのうち1台を貸し出しできる体制をとっており、希望が増えるようであれば、増設も考慮する。

現在

貸出件数が増えるようであれば、増設を検討していく

現在、消防本部では、貸し出し用のAEDを1台保有している。これまで、いながわ桜まつり・彫刻の道マラソン大会などのイベントで貸し出しを行っているが、今のところ貸出件数は少ない。今後、貸出件数が増えるようであれば、増設を検討していく。

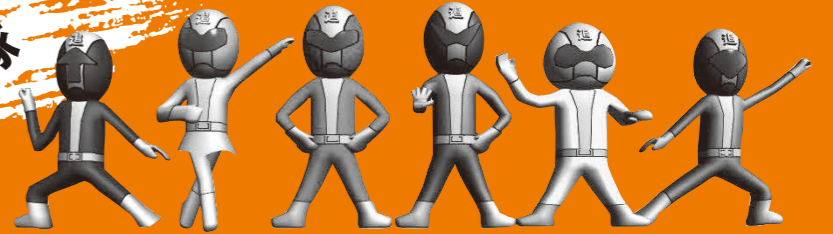


(貸し出し用のAED)

復活!! 追っレンジャー

いながわ

追跡調査隊



猪名川大橋付近の河川改修を

質問

平成23年12月定例会

猪名川大橋の下が竹などのゴミでダムようになり、原・柏梨田地域が氾濫した。県の改修についての対応は。

答弁

部分改修も含め引き続き県に要望する

県管理部分で整備計画があるのは銀橋から多田大橋の間ではあるが、本町も氾濫危険箇所が多く、引き続き要望していく。



(柏梨田地内)

過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追っレンジャー」が調査しました。第26回目のミッションは、次の3つの質問のその後です。

現在

県により局地的な浸水被害軽減対策が計画された

現在も、県管理部分で整備計画があるのは銀橋から多田大橋の間であるが、新規事業として、河川中上流部において近年の洪水で川沿いの家屋や道路が頻りに浸水した箇所の局地的な浸水被害軽減対策が計画され、本町では、笹尾・柏梨田地区などが対象となっており、順次取り組んでいくと県より聞いている。なお、当該地区を含む他の箇所についても、引き続き要望していく。

むっせ 六瀬の四季

六瀬中学校 一年 **中林 聖**

春は、ほのぼの暖かい
桜の花びらがひらひらと舞っている
夏は、むしむし暑い
夜に蛍がきらきら光って飛ぶ
秋は、もみじがちらちらと散っていく
ほかほか焼き芋食欲の秋だ
冬は、空から雪がふわふわとふる
ほかほかおなべを食べると心が
温かくなる



—オノマトペを学習して—

短歌に挑戦!

つつじが丘小学校 六年一組

たのしみは 一緒に何かを努力して
一生懸命 やりとげた時
遠山 日菜多



たのしみは 日々の幸せ感じれる
友達と共に 笑いあえた時
近藤 凜奈



たのしみは 家族が全員そろって
話をしながら 笑い合う時
梅本 昂典



たのしみは みんなと遊んで笑ったり
みんなの笑顔が いっぱいの時
黒田 要成



お知らせ

みなさんも
議会・委員会を
傍聴しませんか



町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりに一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(議場20人、委員会室10人まで)

12月定例会

- 第1日 12月9日(金) 議案審議
- 第2日 12月16日(金) 一般質問
- 第3日 12月20日(火) 議案審議

常任委員会の日程

- 総務文教常任委員会 12月13日(火)
- 生活建設常任委員会 12月14日(水)

※いずれも午前10時から

3月 定例会の日程(予定)

3月定例会
2月22日(水)～3月24日(金)

※議事の都合により変更することがあります。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。
また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧いただけます。

編集後記

今年も各地域において運動会や五穀豊穰を祝う秋祭りも盛大に開催されました。代々受け継がれる伝統行事(練り込み)はいつの時代も子どもの頃に戻ってしまうひと時、子どもの真剣な眼差し、垣間見る笑顔が、日々の疲れを吹き飛ばすから不思議です。私も次世代にしっかりと伝えていきたいと思っています。

先の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上となり、若年層から議会と町行政に関心を持つただける議会だよりを発行していく事が責務であると考えます。



練り込み

西谷 八郎治
議会広報特別委員会

